

事業所名

児童発達支援てらこやキッズクラブ1(多機能型)

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

2月

1 日

法人（事業所）理念		子どもと保護者に寄り添った優しい会社										
支援方針		支援される当事者自身が、今ある環境の中で安定した気持ちで生活を営み成長して行けるよう、基本的な生活スキルを身に付ける事を目的とし、子ども自身が持っている強みを引き出していくお手伝いをしていきます。										
営業時間		9	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無	○あり なし	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	利用時には毎回検温をし、体調をしっかり観察します。手洗いやトイレ（オムツ）、衣類の着脱など身の回りの事が自分自身で出来るようになる為、補助・見守りを行っていきます。幼稚園や保育園、認定こども園を基準に生活する中で、当事業所の利用はその生活の流れの一部として位置する事でリズムを整えていきます。活動にメリハリを持って過ごし、気持ちの切り替えをスムーズに行っていきます。心と体の安定を一番に考え活動に取り組みます。										
	運動・感覚	粗大運動ではサーキット運動や散歩、公園での遊具遊び、時期によっては徒歩遠足を実施します。微細運動では、指先を使った玩具を取り入れたり、ハサミや鉛筆を使った製作やドリルなど成長の段階に合わせて実施しています。苦手な感触や感覚の物に対して、無理のない程度に触れてみたり、好きな感覚遊び（スライムなど）を取り入れ活動しています。年長児はスープリウムビジョン（ビジョントレーニング）を実施する事により動体視力や視野の広さ、集中力などの向上につなげています。										
	認知・行動	その日の活動を絵カードにより提示する事で、視覚支援を行っています。見通しを立てる事で、環境の変化に慣れないお子さんでも不安無く過ごせるようにしています。その子の発達状況に応じて、時計を見て針の位置や数字を確認したり、色のマッチング、物と名前のマッチングなど認識につながる活動をしています。丁寧に理解しやすい説明（見本を提示など）の元、製作を実施します。										
	言語 コミュニケーション	色々な環境の下、直接触れる、実際に体験する事により、言語の発達につなげていきます。小集団でお友達と一緒に過ごす事で、コミュニケーションを取る経験をし、関わり方の練習を積んでいきます。自分の思いを言葉やそれに代わる方法を身に付けていく事で、気持ちの安定につなげていきます。絵本の読み聞かせを実施しています。										
	人間関係 社会性	お友達と活動や遊びを共にする事で、相手とのやり取りを経験しその子の発達状況にあった関係作りをサポートします。様々な遊びの場を提供し一人遊びの段階から、少しずつ興味の合うお友達へと関係を広げ社会性を育むお手伝いをします。苦手な事に少しずつ挑戦し、小さな『出来た』を積み重ねる事で自信を持って集団生活を過ごせるようにします。										
家族支援		れんらくアプリによる日常活動の報告と、保護者様からの相談に手厚く対応致します。必要に応じて接し方のアドバイス等行っています。ご家族が安定した日常を過ごせるよう協力させて頂いています。							移行支援		保育園等への入園や、園児から小学生になる段階での教育関係機関との連携（ケース会議等）を取る事で、スムーズに移行出来るよう努めています。必要な療育が終了出来るご家庭にはお声掛けしています。	
地域支援・地域連携		保育園、幼稚園、認定こども園や江別市、相談事業所、他相談事業所などと当事者に関する情報を共有し、共通理解をしています。							職員の質の向上		安心安全に療育を実施出来るよう、研修を実施しています。各職員がBCPや虐待防止委員会に所属する事で、自身の意識を高く持てるようにしています。	
主な行事等		遠足、社会見学、運動会、クリスマス会、餅つき、他季節ごとの行事を行っています。										